

目次

建設機械施工技術の向上について……………山川尚典…1
 協会の事業活動について……………2
 本協会の各部会、専門部会の動き
 普及部会……………4
 技術部会……………5
 施工部会……………19
 整備部会……………20
 調査部会……………20
 水力開発機械化専門部会……………20
 道路工事機械化専門部会……………21
 土と基礎機械化専門部会……………30
 指導書専門部会……………33
 海外用建設機械要覧編集委員会……………33
 建設機械損料調査委員会……………33
 技術相談部……………33
 製造業部会……………33
 建設業部会……………34
 商社部部……………34
 サービス業部会……………34
 昭和37年度各省事業の概要(その1)
 I. 昭和37年度建設省事業の概要……………寺崎 満…35
 II. 昭和37年度運輸省港湾事業の概要……………吉 沢 勝…42
 昭和36年度の建設機械の生産、輸出、輸入実績に……上 田 直四郎…46
 ついて
 昭和36年度建設関係技術導入の展望……………坂 本 剛…50
 水島臨海工業地帯の建設工事の計画と現状……………増岡 康 治…54
 建設機械の現状(その5)
 VII 締固め機械……………永 盛 峰 雄…59
 締固め機械、舗装機械の性能試験について……………永 盛 峰 雄…67
 機関誌をよりよくするためのご意見拝聴アンケート集計報告一……編集委員会…73
 「文献調査」
 I. ストップ装置を備えた万能掘削機の無限軌道走行装置……………施工部会 文献調査委員会…74
 II. アスファルトフィニッシャのフィニッシュグスクリッド自動調整装置……………施工部会 文献調査委員会…76
 ニュース……………(編集部)…77
 行事一覧・編集後記……………(長尾・石川)…78
 本協会団体会員一覧

◇表紙写真説明◇

新三菱重工業株式会社製

三菱ユンボ S-25 形 パワーショベル

三菱ユンボショベル S-25 形は、機動性に富むトラック搭載式ショベルで従来のショベルとは原理構造を全く異にし、バケット操作、掘削、旋回のすべての操作を運転室内にある4本の操作レバーによって簡単に行なうことのできる全油圧式ショベルである。殊に全油圧式の各機構は、操作を誤って過負荷となっても、破損することがなく、また、フェースショベルバケットなど8種のアタッチメントを簡単に取換えることにより、ショベル、バックホウ、グラブ、ローダ、クレーン、排土作業など各種の作業を行なうことができる等、多くの特長を持っている。

主 要 諸 元

いすゞ TX 552 型トラックに搭載した場合下記のようになる

		いすゞ TX 552		ショベル 本体	
車 種		いすゞ TX 552		原 形	三菱ディーゼルエンジン KE 36 4サイクル6気筒水冷式
全 長(移動時)		約 6,780 mm		機 動 性	連 続 1 時 間 最 大 吐 出 力 36 PS/1,800 rpm 42.5 PS/1,800 rpm 3,299 cc 17 kg-m
全 高()		約 3,100 mm		油 ン ポ プ	吐 出 圧 力 150 l/min 105 kg/cm ²
全 幅()		約 2,400 mm		オ ー モ ー イ ー ル タ	形 回 転 式 数 ギヤ式 100 rpm
シャ ー シ 重 量		約 4,050 kg		オ イ ル タ ン ク 容 量	140 l
総重量(アタッチメントを除く)		約 8,800 kg			
乗 車 定 員		2 名			
ト ラ ッ ク エ ン ジ ン 名 称		いすゞ DA 120 ディーゼル			
最 高 出 力		125 PS/2,600 rpm			